

ねん がつ
2023年9月

れきし
歴史

No. 27

けんぱくものしりシート

もりおか し だいこうずいしゃしんちょう

盛岡市大洪水写真帖



状 惨 ノ 近 附 橋 ノ 上

盛土潰崩ノ店造酒井村

『盛岡市大洪水写真帖』より 上ノ橋附近ノ惨状

もりおか し ちゅうしん ぶ なが なか つ がわ かわ か はし しも はし ちか
盛岡市の中心部を流れる中津川。その川に架かる橋のひとつ、下の橋の近
くで子供時代をすごしたという 1944 (昭和19) 年生まれのあるおばあちゃん
が、こんな話はなしをしてくれました。



しょうがくせい 小学生のころ、当時は鷹匠小路と呼ばれていた今の下ノ橋町に住んでい
ました。そばには中津川が流れていて、プールの無い時代、夏には近所の子供
たちと泳ぎに行ったものです。そんな身近な川だったので、当時から 40 年ぐ
らい昔、2階まで届くほどの大水が出て、下の橋も流されたと聞かされた時
は、とても信じられない気持ちでした・・・

おおみず めいじ ねん がつ か じっさい お なか つ がわ
ここでいう大水というのは、1910(明治43)年9月3日に実際に起きた中津川
こうずい しゃしん ひがい ようす つた もりおか し だいこうずいしゃしんちよう
の洪水のことで、写真はその被害の様子を伝える『盛岡市大洪水写真帖』の
1ページです。この年は8月から降り続く大雨のため、北上川では大きな氾濫
きたかみがわ なかつ がわ みず しがいち しんすい かわ か
がおきました。北上川にそそぐ中津川も水があふれ市街地が浸水、川に架かる
かみ はし しも はし なが いえ うしな ひと おお ひがい しんこく
上の橋や下の橋も流され、家を失った人も多く、被害は深刻でした。



北上川上流の四十四田ダム

がぞうていきょう こくどこうつうしょう とうほくちほうせいび きょくきたかみがわ とうごうかんりじむしょ
画像提供：国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所

きたかみがわ すいがい えどじだい なんど くかえ ひとびと くる
北上川の水害は、江戸時代から何度も繰り返され、人々が苦しめられてきた
れきし だいきぼ ていぼう きたかみがわじょうりゅう つく
歴史があります。しかし、大規模な堤防や、北上川上流のダムが造られたおかげで、かつてのような大洪水は起こらなくなりました。そして、過去の大きな被害も人々の記憶から失われつつあります。けれども、私たちは現在の激しい気候変動などにより、新たな自然災害の危機に直面しています。残された貴重な写真記録から、それに備える意識を忘れないようにしたいものです。

引用・参考 岩手県立博物館 2023年 『令和5年度テーマ展 北上川上流五大ダム探検大作戦展覧会ファイル』

- 「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。
- 「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214

岩手県立博物館

検索

HPにてバックナンバー公開中！

モッちゃん

けんぱくものしりシート
『盛岡市大洪水写真帖』

2023年8月発行 歴—No.27

■参考文献

- ・岩手県立博物館 2023年『令和5年度テーマ展 北上川上流五大ダム探検大作戦 展覧会ファイル』